

全力・協力・輝け！富岡魂 ★ 全力運動会の開催

10月23日（土）、5月から延期した運動会を「全力・協力・輝け！富岡魂」をスローガンに、「全力富小運動会」と名を改めて実施しました。子どもたちは、150日間の延期によって感じた悔しさや悲しみを乗り越えて、全力で準備しました。今年は、全校が願った応援合戦を復活させました。感染症予防のために、全員が大声を上げることはできませんが、優勝めざし心一つにして動きをそろえます。応援団員を中心に、限られた時間を使って練習してきました。

競技は、個人種目と団体種目の各学年2種目、それに団対抗全校リレー、わくわく班による球入れ、応援合戦を加えた15種目です。どの種目でも、最後まであきらめず、がんばる姿が見られました。プログラムの中盤に位置付けた応援合戦では、両団とも緊張感のある動きと、応援団員の掛け声が迫力のある時間を生み出しました。5、6年生は割り当てられた仕事も真剣に取り組みました。競技と競技の間の移動も、全力で走る姿は、参観者にさわやかな感動を与えました。総合優勝は、白団。応援優勝は赤団。どちらも精いっぱい戦い、笑顔で終えることができました。



今年は、運動場での参観を6年生の保護者のみとしました。5年生以下のご家族や地域の皆様には子どもたちの活躍を直接ご覧いただくことができませんでしたが、新たな試みとしてオンラインでの中継放送を行いました。まだまだ十分ではありませんが、今後も安全対策をとり、お子様にも、来校者にも安全と安心を提供できる方法を検討していきます。

体験活動の再開

9月末の緊急事態宣言の解除に伴い、体験活動を再開しました。10月8・11日には、1年生恒例のサツマイモ掘りを体験しました。東深瀬の村瀬治男さんのご厚意で30年近く続いている活動です。親子で土に触れる経験を通して、実体験の学びと共に情緒面の成長も期待できます。

5年生は10月12日に社会見学、14日に公民館活動の一環として落語鑑賞会を実施しました。社会見学では、各務原市の岐阜車体工業の自動車製造工場と岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を見学し、社会の学習で学んだことを確かめました。落語鑑賞では、上方落語の桂歌之助さんによる小噺と、子どもたちを高座に上げての落語体験を味わいました。

教室では学ぶことのできない体験活動は、子どもたちの成長にとってかけがえのないものです。感染症対策を優先し、実際に体験する機会を制限してきましたが、今後は6年生の修学旅行を始め、各学年の体験活動を進めていきます。ご家庭のご理解をお願いします。

